

# 法と民主主義

2014年8・9月号 通巻No.491

CONTENTS

## 特集●「原発と人権」

### 人間・コミュニティの回復と原発のない社会をめざして

——第2回 全国研究・交流集会 in 福島 (2014.4.5~4.6) より

- 02 ◆特集にあたって……………「法と民主主義」編集委員会・海部幸造  
04 ◆開会の挨拶……………淡路剛久  
05 ◆歓迎の挨拶……………中井勝己  
■全体会報告  
06 ◆終わらない原発事故——被害者の視点から……………柳田邦男  
17 ◆国際的に保障されている人権と原子力災害…ミシェル・プリウール/通訳・高村ゆかり  
23 ◆ふくしまにおける原子力災害の特徴と長期避難者の生活再建  
——「複線の復興」をめざして……………丹波史紀  
28 ◆原発被災住民・現地首長は訴える  
知らなかった放射能汚染・渡部保子/東電はでたらめを言っている・菅野清一  
改めて漁業の再生を・安達利郎/毎日のように起きる事故—原発労働者の手紙・渡辺博之  
避難しても問題は山積している・鴨下祐也/「安全」は虚構だった…・鳶川正義  
日本をどういう国にするのか・桜井勝延  
■分科会報告  
38 ◆第一分科会…渡辺登代美……………40 ◆第二分科会…除本理史  
42 ◆第三分科会…望月賢司……………44 ◆第四分科会…柴田鉄治  
46 ◆第五分科会…大熊政一  
48 ◆閉会の挨拶……………今野順夫  
49 ◆集会アピール
- 
- 特別掲載●大飯原発差し止め訴訟判決の意義と脱原発運動のこれから  
50 ◆動かしようのない事実と確実な法的価値判断……………海渡雄一  
55 ◆大飯原発差し止め訴訟判決「批判」を反批判する……………館野 淳  
58 ◆脱原発をめざす草の根の運動の状況と課題……………北村 浩
- 60 ◆シリーズⅢ「若手研究者が読み解く〇〇法 Part2 16」民法(家族法)  
家族法をめぐる司法の本領——違憲判断を支えた立法事実の変化を読む……………立石直子  
64 ◆連続掲載●国連・平和への権利——日本からの提言⑫  
白熱する賛成国・反対国の応酬——国連人権理事会作業部会第二会期報告……………笹本 潤  
66 ◆連載・裁判員裁判実施後の問題点No.23  
司法とは何だ そこで裁判員は何をするのか(下の②)……………五十嵐二葉  
73 ◆追悼・稀有な友人小田成光弁護士が日本の司法改革に寄せた情熱……………鳥生忠佑  
74 ◆司法をめぐる動き④  
韓国の司法事情散見 国民参与裁判制度と参与連帯に学ぶ……………北澤貞男  
7/8月の動き……………司法制度委員会  
78 ◆メディア・ウオッチ2014●「集団的自衛権」テレビ報道  
評価できる「報ステ」、「報道特集」、NHKは政治寄り—「放送を語る会」が分析  
……………丸山重威  
80 ◆あなたとランチを(No.5)……………ランチメイト・戸舘圭之×佐藤むつみ  
82 ◆リレー連載●改憲批判Q&A No.10  
「集団安全保障」への自衛隊の参加に問題はないのか?……………清水雅彦  
84 ◆リレートーク●(14) あすわかの「出版の自由」「集会の自由」……………中村 剛  
85 ◆スポット●総がかりで憲法擁護を「護憲の秋」が幕開け……………丸山重威  
86 ◆インフォメーション●集団的自衛権行使容認の閣議決定に抗議し、その撤回を求める憲法研究者の声明  
88 ◆委員会報告●司法制度委員会/憲法委員会……………米倉洋子/小沢隆一
- 00 ◆時評●憲法9条に基づく国づくりを……………仲山忠克  
89 ◆KAZE●「核のゴミ」と人間・コミュニティ・民主主義……………小沢隆一